

# 第 56 回関西油化学講習会（油技術講座）のご案内

## 主題：「感性」を評価し、使いこなす！

本講習会では、学界や業界で第一人者としてご活躍の講師の方々に当該テーマについて平易に解説していただきます。様々な分野から多数のご参加をお待ちいたしております。奮ってお申し込み下さい。

- 主催 公益社団法人 日本油化学会 関西支部  
協賛 日本化粧品技術者会大阪支部  
日時 平成 26 年 10 月 24 日（金）9 時 30 分～16 時 55 分  
会場 大阪市立工業研究所（〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50）  
JR大阪環状線・地下鉄中央線または長堀鶴見緑地線「森ノ宮」駅下車、4 番出口東へ300mの都市基盤整備公団と赤十字血液センターの間の角を北へ 300m、森之宮小学校北隣。徒歩約 10 分。
- 参加費 （テキスト代を含みます。）  
本会正会員、もしくは本会法人会員・協賛団体会員会社の勤務者 15,000 円  
本会法人会員会社に勤務している正会員 12,000 円  
大学・官公庁の正会員 10,000 円  
学生会員 5,000 円  
会員外 20,000 円
- 申込先 〒 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学物質工学科 川瀬研究室内  
公益社団法人 日本油化学会 関西支部事務局 [電話&FAX 075-724-7529]
- 申込方法 氏名、会員番号（正会員・学生会員の場合）、勤務先、連絡先所在地、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを明記の上、郵便または FAX でお申し込み下さい。参加費は締切日までに銀行振込で前納して下さい。なお、納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。  
銀行振込先：京都銀行下鴨支店・普通預金口座 3246576  
社団法人日本油化学会関西支部事務局；シヤ)ニホンユカガクカイカンサイシブジムキョク
- 申込締切 10 月 16 日（木）[定員 70 名：先着順]

### プログラム：

#### 1. 「嗅覚受容体のアンタゴニストがヒト官能に及ぼす影響」

花王（株）感性科学研究所 難波 綾 氏（9:35-10:45）

匂い分子は嗅覚受容体によって認識される。本研究では、ヘキサ酸などの脂肪酸を対象に、ヒト嗅覚受容体ならびに受容体の応答を抑制するアンタゴニスト（受容体拮抗剤）の探索を行った。その結果、複数のヒト嗅覚受容体が脂肪酸に応答することが見出され、また脂肪酸受容体のアンタゴニストが複数見出された。さらに、ヘキサ酸の受容体アンタゴニストにより、官能評価においてもヘキサ酸臭が低減することが示された。

#### 2. 「心地良い清涼感の実現に向けた取り組みについて」

(株) マンダム 技術開発センター スキンケア製品開発課 嶋田 格 氏（10:45-11:55）

近年、節電の影響から、清涼化粧品に対する需要が高まっています。清涼化粧品には、主に冷感付与のためメントールが多く用いられています。そこで本講演では、心地良い清涼感の実現に向けて、メントール刺激の感受性（部位差、男女差）の違いや、清涼感の強度を識別する評価方法などメントール刺激の基礎情報と、清涼感の持続方法、TRP チャネルを用いたメントール刺激の抑制方法などの製品応用について御紹介致します。

### 3. 「食品のテクスチャー改良を目的とした加工澱粉の使い方」

(株) J-オイルミルズ 商品開発研究所 小林 功 氏 (13:00-14:10)

煎餅のパリッと感、パンのフワッと感、うどんのもちもち感、揚げ物のサクサク感、これら食品の食感において澱粉が大いにかかわっている。また、嚥下・咀嚼能力が低下してくる高齢化向け食品においては、食品のテクスチャーの管理が重要なポイントとなる。今回、食品のテクスチャーやその測定法について分かりやすく説明し、食品のテクスチャーを改良するために加工澱粉がどのように用いられるのか具体的な実例を挙げて説明する。

### 4. 「味覚センサーによる味の“見える化”とビジネス活用」

(株) インテリジェントセンサーテクノロジー 豊田 健太郎 氏 (14:20-15:30)

P B (プライベートブランド) 製品や業務用製品の競争が激化し、多種多様な顧客ニーズへの迅速な対応が求められている。そのために、消費者のニーズの見える化 (地域差、年齢差、価格差等)、目標の明確化とコストダウンを意識した最適設計、及び、バイヤーや消費者への中身の見える化が重要と考えられる。これらにそって、味覚センサの原理およびビジネス活用例を紹介する。

### 5. 「GC-MS によるにおい評価のための前処理手法について」

(株)島津製作所 分析計測事業部 田中 幸樹 氏 (15:40-16:50)

におい分析では分離・定性能力に優れたガスクロマトグラフ-質量分析計(GC-MS)が最もよく使用されます。GC-MS でおい分析をする場合、試料の形態やにおい成分の濃度などにより、最適な前処理装置、前処理手法を選択する必要があります。本講演では各種前処理装置、前処理手法の特徴およびアプリケーション事例を紹介します。

----- きりとり線 -----

関西支部 第 55 回関西油化学講習会 参加申込書 ( 1 人 1 枚)			
氏 名 (ふりがな)		会員番号 (正会員&学生会員)	
		事務局記入欄	
		受付番号:	
所属・部署			
連絡先		電 話	
		FAX	
		E-mail	
資 格 (該当に○印)	正会員 大学・官公庁の正会員	法人会員会社の勤務者 学生会員	法人会員会社の正会員 共催団体会員会社の勤務者 会員外
会費額	円	連絡事項	
送金日(予定)	月 日		

- ・この用紙が不足の場合は必要枚数をコピーしてお使い下さい。
- ・申込受領のご案内はメールでのみ行います。出来るだけメールアドレスをご記入下さい。
- ・後日、郵便にて参加証をお送りいたします。お手元に参加証が届くように連絡先をご記入下さい。